

第 6 章

抵抗 / コンデンサ / コイルの描き方

抵抗の描き方

● 長方形の記号とギザギザの記号

IEC/JIS 規格の抵抗は図1のような長方形で表現します。これら以外に図2のようなギザギザの記号も使われています。図2はJIS規格が改訂されるまで長年使われてきたもので、現在でも使用されることがあります。トランジスタ技術誌では現在もANSI/IEEE規格に準拠したギザギザ記号が使われています。

長方形の記号は一般的なインピーダンスを表すのに使うこともありました。その場合、実数の抵抗はギザギザの記号、虚数部分のあるインピーダンスは長方形記号という区別をして、2つの記号を混ぜて使うこともありました。

現在の教科書や専門書などの回路図は、描かれた時期により古い記号と新しい記号が混在しているかもしれません。新しく書かれた教科書は新しい記号で描かれているはずですが。

回路部品としての抵抗は、使用材料、精度、許容電力、実装方法などにより数多くの種類がありますが、記号としては統一されています。それらを図1に示します。手描きする場合は、長方形の縦と横の比を3～4対1にするとバランスよく見えると思います。

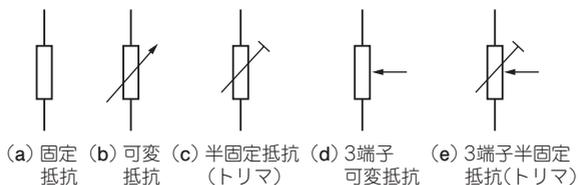


図1 IEC/JIS規格の抵抗器

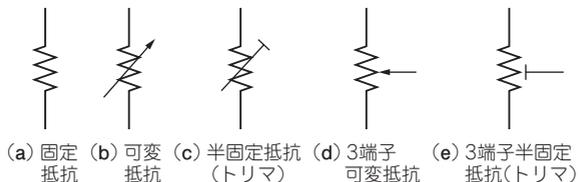


図2 抵抗器を表す記号